

# ON YOUR SIDE REPORT 2019.9

京都中央信用金庫は2020年6月に80周年を迎えます  
 京都中央信用金庫

おかげさまで80周年

  
80<sup>th</sup>  
Anniversary



みなさまとともに  
未来を紡ぐ  
金融機関でありますように



理事長  
白波瀬 誠

平素は京都中央信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

この度、当金庫の経営内容や事業活動をより一層ご理解いただくため、2019年度上半期のディスクロージャー誌を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

当金庫の2019年9月期の業績は、みなさまのお力添えにより、預金積金が4兆7,302億円、貸出金が2兆6,930億円を超え、当期純利益51億円を確保することができました。

おかげさまで当金庫は来年6月で80周年を迎えますが、これからも本業支援に基づく金融仲介機能を発揮し、地域活性化に積極的に取り組んでまいります。今後ともみなさまの繁栄のためにお役に立つ所存でございますので、変わらぬご支援、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

2019年11月

# さまざまなビジネスシーンで 地元企業をサポート



## SDGs 関連ローンの拡充

- ・ 中信SDGsサポートローン  
SDGsの達成に向けた取組みに対する資金・関連資金およびその借換資金
- ・ 中信SDGs事業承継ローン  
事業承継に必要な資金および今後の事業承継を見据えた準備に必要な資金、それらを合わせた借換資金
- ・ 中信SDGsビジネスマッチングローン  
ビジネスマッチングに関連した事業に必要な資金およびその資金と合わせた借換資金



## 地域社会の発展のために

### ◆ 中信ビジネスフェア2019 第31回大商談会

ビジネス情報の提供、異業種交流、ビジネスマッチングを目的とするサークル「中信サクセスクラブ」では、1989年に発足して以来、初年度より異業種商品技術展示交流会として、毎年「大商談会」を開催しています。2005年からは、複合イベント「中信ビジネスフェア」へとグレードアップし、2日間にわたって開催しています。

2019年度は「つながって、超えていく。ひろがって、変えていく。」をテーマに、さまざまなノウハウを持った企業に出展・来場いただき、各種ビジネスマッチングの機会を提供するとともに、百貨店・スーパー・商社・海外企業等のバイヤーを招致し、販路開拓や売上拡大の支援にも取り組みました。また、毎年ご好評いただいている中信学生デザインコンテストでは「食」をテーマとした京風パッケージデザインを多数展示し、地元企業をはじめとする来場者の皆さまにご覧いただきました。フェア全体では約12,000人の来場者で、会場は大盛況でした。



中信学生デザインコンテスト表彰



海外人材セミナー



中信バイヤーマッチング EXPO 2019

### ◆ 合同企業説明会『京都いいな合説』を開催

総合就業支援拠点「京都ジョブパーク」と連携し、合同企業説明会『京都いいな合説』を開催しました。今年度は2カ所で開催し、中信ビジネスフェアの会場では、新卒者、若年求職者と正社員雇用に積極的な地元企業との出会いの場を提供しました。また、京都経済センターでは、外国人留学生の採用に意欲を示す京都府内の企業と、京都で就職することを希望する留学生との機会提供および採用支援を目的として同説明会を開催しました。2日間にわたって多数の企業、求職者の皆さまにご参加いただきました。



中信ビジネスフェア会場



京都経済センター会場



# 当金庫のSDGsの取組み状況について

当金庫では、2019年2月にSDGs方針を制定し、SDGsの目標達成に向けて尽力することを宣言いたしました。地域金融機関としての事業活動を通じて、SDGs達成に向けた取組みを加速させ、地域社会とともに持続的に成長していくことを目指しています。



## ① 地域産業の育成・発展の支援

- ◆「中信SDGsサポートローン」、「中信SDGs事業承継ローン」、「中信SDGsビジネスマッチングローン」取扱開始
- ◆創業支援、事業承継支援等を通じた地元企業の育成、活性化、各種マッチングのサポート
- ◆中信ビジネスフェア開催



## ② 地域の豊かなまちづくりの支援

- ◆安心・安全に利用できる金融サービスの提供(サイバー犯罪防止)
- ◆「芝生スクール応援定期預金」取扱
- ◆地方創生にかかる自治体等との連携
- ◆児童養護施設等への入所を必要とする子どもたちへの支援(京都府・京都市)
- ◆(公財)中信美術奨励基金の運営
- ◆中信宵山狂言会開催
- ◆京都マラソンボランティア活動



## ③ 多様な人材の育成

- ◆女性活躍推進/えるぼし(三ツ星) 2019年5月 認定
- ◆育児・介護両立支援/プラチナくるみん 2019年5月 認定
- ◆(公財)中信育英会の運営
- ◆全京都学童軟式野球選手権大会協賛



## ④ 環境負荷軽減への対応

- ◆環境配慮型店舗、ATMブースの設置
- ◆本店ビルの照明LED化
- ◆不要文具品の再利用等の3R活動
- ◆ペーパーレスへの取組み
- ◆「目論見書管理発行システム」運用開始によるオンデマンド印刷開始
- ◆サステナビリティボンド等への投資
- ◆「ゴミゼロの日」等清掃活動の実施



## 預金・貸出金の状況

預金積金については、年金受給口座の獲得を中心とした個人の普通預金の増加に加え、法人預金も増加した結果、2019年9月期の残高は、前年同期比720億円増加し、4兆7,302億円となりました。

また、貸出金については、地元中小企業者や一般個人のみなさまへの円滑な資金供給に積極的に努めた結果、前年同期比598億円増加し、2兆6,930億円となりました。

(単位：百万円)

	2018年9月期	2019年9月期	増減
預金積金残高	4,658,160	4,730,230	72,070
貸出金残高	2,633,167	2,693,020	59,852

## ●貸出金の業種別内訳

(単位：百万円)

	2018年9月期		2019年9月期	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	127,519	4.84%	127,120	4.72%
農業、林業	568	0.02%	684	0.02%
鉱業、採石業、砂利採取業	1,238	0.04%	1,393	0.05%
建設業	105,325	3.99%	107,641	3.99%
電気・ガス・熱供給・水道業	599	0.02%	797	0.02%
情報通信業	5,222	0.19%	5,394	0.20%
運輸業、郵便業	26,052	0.98%	27,213	1.01%
卸売業	77,498	2.94%	77,843	2.89%
小売業	51,383	1.95%	50,039	1.85%
金融業、保険業	100,985	3.83%	110,703	4.11%
不動産業	542,360	20.59%	576,618	21.41%
物品賃貸業	4,392	0.16%	3,643	0.13%
学術研究、専門・技術サービス業	7,661	0.29%	7,936	0.29%
宿泊業	16,857	0.64%	15,478	0.57%
飲食業	25,513	0.96%	25,356	0.94%
生活関連サービス業、娯楽業	37,129	1.41%	45,115	1.67%
教育、学習支援業	13,703	0.52%	13,139	0.48%
医療、福祉	62,495	2.37%	60,342	2.24%
その他のサービス	47,189	1.79%	53,976	2.00%
<b>小計</b>	<b>1,253,697</b>	<b>47.61%</b>	<b>1,310,439</b>	<b>48.66%</b>
地方公共団体	155,040	5.88%	159,098	5.90%
個人(住宅・消費・納税資金等)	1,224,430	46.50%	1,223,482	45.43%
<b>合計</b>	<b>2,633,167</b>	<b>100.00%</b>	<b>2,693,020</b>	<b>100.00%</b>

(注)1. 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

2. 国外向けの貸出については、国内向けの貸出と同様に区分し、該当する業種に含めております。

## 貸借対照表

(単位：百万円)

(資産の部)	2018年9月30日現在	2019年9月30日現在	増減
現金・預け金	1,063,770	1,311,359	247,588
コールローン	583	512	△ 70
買入金銭債権	2,236	2,120	△ 115
金銭の信託	10,995	13,011	2,016
商品有価証券	1,471	1,325	△ 145
有価証券	1,655,388	1,576,325	△ 79,063
貸出金	2,633,167	2,693,020	59,852
外国為替	1,765	643	△ 1,122
その他資産	29,200	26,152	△ 3,047
有形固定資産	52,977	54,791	1,814
無形固定資産	2,646	2,789	143
繰延税金資産	2,266	-	△ 2,266
債務保証見返	5,485	3,499	△ 1,985
貸倒引当金 (うち個別貸倒引当金)	△ 12,835 (△ 8,623)	△ 12,324 (△ 7,879)	510 (743)
資産の部合計	5,449,119	5,673,227	224,108

(単位：百万円)

(負債の部)	2018年9月30日現在	2019年9月30日現在	増減
預金積金	4,658,160	4,730,230	72,070
借入金	367,200	404,083	36,883
コールマネー	37,921	50,722	12,801
債券貸借取引受入担保金	72,305	160,012	87,707
外国為替	16	64	48
その他負債	14,063	14,040	△ 23
賞与引当金	690	687	△ 3
退職給付引当金	11,093	11,007	△ 85
役員退職慰労引当金	741	703	△ 37
預金払戻損失引当金	314	336	22
偶発損失引当金	252	403	150
懸賞金支払引当金	95	94	△ 0
繰延税金負債	-	1,022	1,022
再評価に係る繰延税金負債	4,853	4,853	-
債務保証	5,485	3,499	△ 1,985
負債の部合計	5,173,192	5,381,763	208,570
(純資産の部)			
出資金	20,640	20,421	△ 218
利益剰余金	228,946	237,151	8,205
会員勘定合計	249,586	257,573	7,986
その他有価証券評価差額金	18,287	26,811	8,524
繰延ヘッジ損益	39	△ 966	△ 1,005
土地再評価差額金	8,012	8,045	32
評価・換算差額等合計	26,339	33,891	7,551
純資産の部合計	275,926	291,464	15,537
負債及び純資産の部合計	5,449,119	5,673,227	224,108

## 損益の状況

2019年9月期の業務純益は、資金収支や役員取引等収益が増加したこと等から、前年同期比2億円増加し、64億円となりました。

一方で、その他経常収益が減少したこと等から、経常利益は前年同期比18億円減少の65億円となり、当期純利益は前年同期比9億円減少し、51億円となりました。

(単位：百万円)



## 損益計算書

(単位：百万円)

	2018年4月1日から 2018年9月30日まで	2019年4月1日から 2019年9月30日まで	増減
<b>経常収益</b>	<b>34,248</b>	<b>35,305</b>	<b>1,057</b>
資金運用収益	26,951	27,913	962
うち貸出金利息	16,565	16,562	△ 2
うち有価証券利息配当金	7,079	7,658	578
役員取引等収益	3,245	3,354	109
その他業務収益	1,554	3,028	1,474
その他経常収益	2,497	1,008	△ 1,488
<b>経常費用</b>	<b>25,903</b>	<b>28,766</b>	<b>2,863</b>
資金調達費用	3,403	4,223	819
うち預金利息	2,695	3,206	511
役員取引等費用	3,286	3,265	△ 21
その他業務費用	1,200	2,160	959
経費	17,763	18,216	452
その他経常費用	249	901	652
<b>経常利益</b>	<b>8,344</b>	<b>6,538</b>	<b>△ 1,805</b>
特別利益	—	8	8
特別損失	129	8	△ 121
税引前当期純利益	8,214	6,539	△ 1,675
法人税、住民税及び事業税	1,508	1,426	△ 81
法人税等調整額	523	△ 72	△ 595
法人税等合計	2,031	1,354	△ 677
<b>当期純利益</b>	<b>6,182</b>	<b>5,184</b>	<b>△ 997</b>

## 有価証券の状況

### ●売買目的有価証券

(単位：百万円)

	2018年9月期	2019年9月期	増減
当期損益に含まれた評価差額	6	11	5

### ●満期保有目的の債券

(単位：百万円)

	種類	2018年9月期			2019年9月期		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	2,867	2,879	12	-	-	-
	社債	9,805	10,244	438	10,475	10,843	367
	その他	16	16	0	10	11	0
	小計	12,689	13,140	451	10,486	10,854	368
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	-	-	-	-	-	-
	地方債	-	-	-	-	-	-
	社債	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-
	小計	-	-	-	-	-	-
合計	12,689	13,140	451	10,486	10,854	368	

- (注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。  
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。  
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

### ●子会社・子法人等株式及び関連法人等株式で時価のあるもの 該当ありません。

### ●その他有価証券

(単位：百万円)

	種類	2018年9月期			2019年9月期		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	48,200	26,987	21,212	37,777	22,058	15,719
	債券	878,476	865,718	12,758	1,145,049	1,122,996	22,052
	うち国債	224,609	221,639	2,969	221,467	214,540	6,927
	うち地方債	283,913	279,015	4,898	411,025	403,778	7,247
	うち社債	369,953	365,063	4,889	512,556	504,678	7,878
	その他	78,202	75,377	2,825	211,883	206,735	5,148
	小計	1,004,879	968,083	36,796	1,394,710	1,351,790	42,920
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	7,784	8,641	△ 857	19,303	21,781	△ 2,478
	債券	402,105	407,681	△ 5,576	36,345	36,695	△ 349
	うち国債	128,409	131,558	△ 3,149	20,597	20,751	△ 153
	うち地方債	105,513	106,857	△ 1,343	11,147	11,327	△ 179
	うち社債	168,181	169,265	△ 1,083	4,600	4,616	△ 15
	その他	222,289	227,529	△ 5,239	109,730	112,771	△ 3,041
	小計	632,178	643,852	△ 11,673	165,379	171,248	△ 5,869
合計	1,637,058	1,611,935	25,122	1,560,090	1,523,038	37,051	

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。  
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。  
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

## 預り資産残高の推移

(単位：百万円)

	2018年9月期	2019年9月期	増減
投資信託	49,339	49,746	406
外貨預金(中信オープン外貨定期)	2,112	1,856	△255
公共債	12,516	11,398	△1,118
合計	63,968	63,001	△967

- (注) 1. 投資信託・外貨預金・公共債はそれぞれ期末の残高です。  
 2. 投資信託は自己取引を含んでおります。

## 貸出債権の開示

信用金庫では、金融再生法に基づく「金融再生法開示債権」と、信用金庫法に基づく「リスク管理債権」の開示が義務付けられています。金融再生法開示債権は債務保証見返など貸出金以外の債権も対象としているのに対し、リスク管理債権は貸出金のみを対象としているのが相違点です。

当金庫の金融再生法開示債権(正常債権を除く)に対する担保・保証・引当金を合わせた保全率は94.51%となっており、引き続き十分な引当水準となっています。十分な引当を行い経営の健全性を確保しつつ、地域の発展・支援に貢献することが当金庫の使命であると考えております。

### I. 2019年9月期における自己査定と開示債権の状況(単体ベース)

(単位：億円)

自己査定					金融再生法による開示		リスク管理債権		
	総与信	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				
破綻先	25	7	18	-	0	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	87	破綻先債権	25
実質破綻先	61	4	37	-	19			危険債権	627
破綻懸念先	566	247	238	80		要管理債権	39	3カ月以上 延滞債権	-
要注意先	3,006	646	2,359					貸出条件 緩和債権	39
正常先	23,313	23,313				小計	693	合計	692
合計					26,974	正常債権	26,294		
						合計	26,987		

※ 上記開示額は、2019年9月末を基準日として自己査定を行い、この結果に基づき算出しています。

同年4月1日から9月末までに倒産・不渡り等、及び業況悪化により債務者区分の引下げがあった債務者についてすべて開示しています。

※ 上半期での必要償却・引当額は、9月末時点の債権残高にて算出しています。

ただし、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」のうち、無価値と認められる部分(=Ⅳ分類)を直接償却し減額して開示しています。

(Ⅳ分類・直接償却相当額は1億円です。)

※ 「金融再生法による開示」には当金庫が保証する私募債の額を含んでいます。

### II. 金融再生法による開示債権と保全の状況

(単位：億円)

区分	開示残高(A)	担保・保証による 回収見込み額(B)	2019年9月期 引当金残高(C)	担保・保証(B)+引当金(C) =保全額(D)	保全率 (D)/(A)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	87	67	20	87	100.00%
危険債権	566	485	56	542	95.72%
要管理債権	39	22	2	25	64.81%
小計	693	575	79	655	94.51%
正常債権	26,294	20,805	41	20,847	79.28%
合計	26,987	21,381	120	21,502	79.67%

$$\text{金融再生法開示債権(正常債権を除く)保全率} = \frac{\text{保全額 } 655\text{億円}}{\text{債権額 } 693\text{億円}} = 94.51\%$$

※ 保全率は小数点以下第3位を四捨五入により算出しています。

### III. 2018年9月期との金融再生法開示債権比較

(単位：億円)

金融再生法による 開示残高	2018年9月期	構成比	2019年9月期	構成比
破産更生債権及び これらに準ずる債権	77	0.29%	87	0.32%
危険債権	562	2.13%	566	2.10%
要管理債権	47	0.18%	39	0.15%
小計	688	2.60%	693	2.57%
正常債権	25,727	97.40%	26,294	97.43%
合計	26,415	100.00%	26,987	100.00%

※ 構成比は小数点以下第3位を四捨五入により算出しています。

## 自己資本比率の状況について〈単体〉

### ●単体自己資本比率(バーゼルⅢ国内基準)

2019年9月期の自己資本比率は、内部留保額を順調に積み上げたものの、リスク・アセット等が増加したこと等から、前年同期比0.06ポイント低下の10.78%となりましたが、金融機関の健全性を示す基準となる水準(国内基準4%)を大きく上回っております。

(単位:百万円)

項目		2018年9月期	2019年9月期	増減
コア資本に係る 基礎項目 (イ)	普通出資に係る会員勘定の額	249,586	257,573	7,986
	うち、出資金の額	20,640	20,421	△ 218
	うち、利益剰余金の額	228,946	237,151	8,205
	一般貸倒引当金の額	4,212	4,445	233
	土地再評価差額の45%相当額のうち、コア資本に係る 基礎項目の額に含まれる額	3,473	2,902	△ 571
	(イ)	<b>257,272</b>	<b>264,920</b>	<b>7,647</b>
コア資本に係る 調整項目 (ロ)	無形固定資産の額	1,527	2,012	485
	(ロ)	<b>1,527</b>	<b>2,012</b>	<b>485</b>
自己資本の額 (ハ)	(イ)－(ロ)	<b>255,745</b>	<b>262,907</b>	<b>7,162</b>
リスク・アセット等 (ニ)	信用リスク・アセットの額	2,269,884	2,353,280	83,395
	オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して 得た額	87,917	85,491	△ 2,426
	(ニ)	<b>2,357,802</b>	<b>2,438,771</b>	<b>80,969</b>
単体自己資本比率	$\frac{(ハ)}{(ニ)}$	<b>10.84%</b>	<b>10.78%</b>	△ 0.06%

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(2006年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

## 京都中央信用金庫 SDGs宣言

京都中央信用金庫は、地域社会の一員として

SDGsの目指す持続可能な社会に向けた取り組みに賛同し

当金庫の事業活動を通じてSDGsの達成に尽力します。



### 京都中央信用金庫の概要 (2019年9月30日現在)

本社所在地	京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町91番地		
創立	1940(昭和15)年6月18日	会員数	233,220人
預金残高	4兆7,302億円	出資金	204億円
貸出金残高	2兆6,930億円	店舗数	129店舗
職員数	2,591人	店舗外ATM	194カ所

TEL (075)223-2525 (代) TEL 0120-201-959 (フリーダイヤル 平日9:00~17:00 当金庫営業エリアのみ)  
FAX 0120-201-580 (フリーダイヤル) インターネットホームページアドレス <https://www.chushin.co.jp/>

ON YOUR SIDE REPORT 表紙使用写真 | 法輪寺より大堰川・渡月橋を望む



この報告書は環境に配慮し、植物油インキを使用しています。

2019年11月